

第1回 関西福祉大学 地域連携フォーラム

地域の力をつなぐ

——くらし、いのち、まなび——

関西福祉大学では、「福祉」、「教育」、「看護」という視点から地域における課題にとともに取り組み、「地域住民の幸せづくり」を目的とした「地域連携フォーラム」を開催いたします。

当事者となる多くの地域の方々にご参加いただき、皆さんの意見を盛り込みながら、地域の力となるよう人々をつなぐことを目的としています。

日時

2015年 **5月23日** **土** 13:00～17:00
(受付開始 12:00～)

場所

関西福祉大学 2号館 A100大講義室 他 (赤穂市新田380-3)

参加無料
定員
500名

プログラム

13:00～13:15 開会挨拶

13:15～14:45 基調講演「地域の力をつなぐ」

講師 山崎 亮 (コミュニティデザイナー・studio-L代表)

プロフィール ● 1973年愛知県生まれ。東北芸術工科大学教授。京都造形芸術大学教授。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。著書に「コミュニティデザイン」(学芸出版社)「まちの幸福論」(NHK 出版)などがある。



15:00～16:30 分科会

1 社会福祉学部

地域を元気にする しくみづくり

日本では、人口減少社会により地方都市におけるこれまでの生活の在り方が大きく変わってしまう時代がくることが予想されます。我々が住み慣れた愛着ある地域で生き生きとした生活を送っていくためには、どのような工夫が必要なのでしょう。坂越での取り組みをヒントとしながら、地方都市において豊かで継続的なコミュニティを実現していくためにどのようなしくみが必要なのか、シンポジウムを通して共に考えましょう。

2 発達教育学部

教育を核とした コミュニケーションづくり

歴史と伝統の町、赤穂・備前・上郡の、地域・家庭・教育行政・安全と防災・エネルギー分野からシンポジストに登壇していただきます。身の回りの様々な課題を「教育」をキーワードに、ふり返り語り合います。皆さんが、日頃感じておられる課題があると思います。それらの課題を自分に引き付けて語ることから、一人一人がつながる意味と意義を見つけ、学校教育だけではなく「地域がつながる教育」について考えてみませんか。

3 看護学部

住み慣れた地域で安心して 暮らすために —— みんなで考える在宅医療 ——

少子高齢・医療技術の進歩に伴い、医療を取り巻く環境が著しく変化している今日、地域で暮らす人々と医療従事者がともに協力しあい、適切な医療の利用、地域で支え合うネットワークを構築することが重要です。この地域の在宅医療に関わってきた看護師、保健師、救急救命士が、それぞれの視点で在宅医療と介護についてお話しします。これからの在宅医療のありかたについて、皆さん一緒に考えていきましょう。

16:45～17:00 閉会挨拶

■主催／関西福祉大学・地域連携フォーラムプロジェクト ■共催／東備西播定住自立圏形成推進協議会
■後援／赤穂市、備前市、上郡町、朝日新聞神戸総局、神戸新聞社、関西福祉大学校友会